

各委員意見要約（事前集約）

1. 教育委員会の活動状況について

（原案の2～7ページ）

No.	委員	扱い	意見等
1	村中		○引き続き、積極的に教育現場の実態把握に努めることを望む。
2	伊井		○学校再編など将来の構想などの議題は、長期的な視野に立ち一定の時間をかけて議論することを望む。
3			○外部評価の実効性をあげるひとつの手法として、外部評価委員会と教育委員の何らかの意見交換の場をつくることを望む。

2. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

（原案の9～11ページ）

No.	委員	扱い	意見等
4	村中		○学力向上に向けた取組は年々充実しているが、今後は指導方法やマニュアルの研修を深めていくことを望む。
5			○学力の伸び悩む子どもについては、対応すべき的を絞り、素早く、きめ細やかな対応をするよう望む。
6	伊井		○学校図書館の整備や人的支援は充実してきているが、効果的に教員の理解を進め授業などで活用できるようにして欲しい。
7		質問	○ICTの次の一歩は？
8	向田		○学習は本来与えられてするものではなく自発的に行うものであることを、しっかりと家庭に認識してもらえよう家庭教育に対する支援を進めることを望む。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

（原案の12ページ）

No.	委員	扱い	意見等
9	伊井	質問	○特別支援教育支援員は、学級の支援に有効であるとありますが、「有効性」はどのように判断しているのでしょうか？
10		質問	○サポートブックの利用状況は？
11		質問	○特別支援教育にかかり、保護者の支援に努めましたとありますが、保護者支援の声を拾うシステムはできているのでしょうか？
12	向田	感想	○特別支援教育については、充実した支援を行っていると感じます。

各委員意見要約（事前集約）

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

（原案の13～15ページ）

No.	委員	扱い	意見等
13	村中		○各学校で特色ある教育を進めているが、市内各校の先生方も他校の取組内容がわかるようになることを望む。
14			○藤女子大学はじめ、地域の豊富な人材を活かした学校支援活動は貴重なので、今後も地域の力を大切にしたい。
15	伊井		○石狩市の理解を深めてもらうための教職員研修を行っていることは評価できる。教職員のニーズにも合致するよう、今後も石狩ならではの「特色」「先進的なテーマ」などの研修を継続して欲しい。
16			○学校教育にかかる優れた実践事例について、教職員研修などで共有されることを望む。
17		質問	○学校ホームページなど、保護者や地域住民の評判は？
18	向田		○学校力向上に関する総合実践事業の実績が良い刺激となり、市内全体の学校力が向上する事を望む。
19			○高齢者が児童と関わり社会性を回復・保持できるような学校教育活動への支援が一層充実することを期待する。

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

（原案の16～19ページ）

No.	委員	扱い	意見等
20	村中		○ITの時代なので、児童生徒用、教師用のパソコンの配置を充分にして欲しい。
21			○学校統合の推進は、あくまで児童・生徒の教育環境を第一に考えて欲しい。
22	伊井	質問	○パソコン一台あたりの児童生徒数が5.6人となっているが、後退傾向にあるか？
23			○教員一人ひとりにパソコンが支給されているのは評価できるが、内実の効果について評価をすることを望む。
24			○子育ての経済的支援、不安度の悪化が気になります。部局を超えた対策を望む。
25		質問	○地産地消の目標値の実現は難しい理由は？
26	向田		○住民が子どもたちに関心を持っている地域は、不審者に対する防犯効果も高いと思われるので、そのような地域となるよう、引き続き「あいさつ」がしっかりと行わるよう取り組んで欲しい。

各委員意見要約（事前集約）

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

（原案の20～25ページ）

No.	委員	扱い	意見等
27	村中		○スタートプログラム「おしゃべランド」と「くるりんぱ」が児童に与えているインパクトはとても大きいので、これからも継続して欲しい。
28			○子どもたちが一流の芸術に触れることはとても大切なので、今後もぜひ継続して欲しい。
29			○子どもたちの健全な成長には体験活動は不可欠なので、厚田や浜益の自然の中での体験活動をぜひ取り入れて欲しい。
30			○読書活動は石狩市の特色のひとつとして様々な努力が行われていますが、今後も一層本に親しめるよう、幼稚園や保育所も含めた関係機関と協力し、充実していくことを望む。
31	伊井	質問	○体験活動への参加者が増加していることとても評価できます。その体験を、学校でどのように授業を通して活用しているのかの評価も必要だと考えます。→量的な評価から質的な評価への転換。
32		質問	○小学生の読書好き割合がなだらかに下降している理由は？
33		感想	○不登校やいじめが減少している傾向は望ましい。
34	向田		○様々な機会で、他人を思いやれる心や強い心を形成する「心の教育」が推進されることを望む。

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

（原案の26～29ページ）

No.	委員	扱い	意見等
35	村中		○活発な少年団活動などを活かして、入会していない子どもたちも一日体験会を行うなど、スポーツを楽しむ機会が広がることを望む。
36			○市民スポーツまつりはとても良い行事のひとつと感じているが、一層、お年寄りが参加できるようになることを望む。
37			○基本的な生活習慣の定着は、学校やPTAと協力し市民と共に進めて行くことを望む。
38	伊井	質問	○食に関する指導の目標値の見直し？→大学生を活用してもらう。（目標値の妥当性）
39			○インターネット利用の利用時間が伸びるのは時代の流れと思われるが、学校教育としてこのことをどのように捉え有効に活用するのかを考えるべき。
40	向田		○遊びは、体力向上のほか様々な面においても子どもの成長に効果的であるが、最近の子どもたちは工夫を凝らした遊び方が分からなくなっていると感じている。大人が積極的に関与し、遊びのきっかけ作りや遊び方を提案することが望まれる。

各委員意見要約（事前集約）

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

（原案の30～31ページ）

No.	委員	扱い	意見等
41	村中		○子どもの安全を守るためには地域の協力が不可欠なので、引き続き、関係機関との連携を望む。
42	伊井		○メール配信サービス（不審者情報）の登録者は減少しているが、今後はLINEやSNSなど、時代のニーズに合わせた情報発信も検討して欲しい。
43	向田		○子ども110番の家いしかりサポート事業は、地域で子どもを見守る体制づくりとして有効と思われることから、引き続き取り組んで欲しい。

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

（原案の32～34ページ）

No.	委員	扱い	意見等
44	村中		○ユネスコスクールは現在小学校2校だが、活動のつながり上、中学校などにも拡大されることが望まれる。
45	伊井		○いしかり市民カレッジが一層活性化されるよう、次の一歩が踏み出されることを望む。
46			○環境教育の視点から、ユネスコスクールの取組を広く教員や市民に報告する機会を設けて欲しい。
47			○社会教育総合施設について現地視察を行っているが、現地視察に関しては、色々な議論がある。場合によってはその成果報告の場を設定することを望む。
48	向田		○これからの高齢化社会に向け、学び交流センターが「心休まる居場所」としての役割も担うことを望む。

施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

（原案の35～36ページ）

No.	委員	扱い	意見等
49	村中		○市民図書館は図書館としても充実しているが、文化活動の場としてもよく活用されているので、継続した取組を望む。
50	伊井		○市民図書館の利用登録者数の減少傾向の分析を引き続き望む。
51			○市民図書館の持つ、本を借りる以外の「学びの拠点」としての用途を一層PRして欲しい。

各委員意見要約（事前集約）

施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

（原案の37～38ページ）

No.	委員	扱い	意見等
52	村中		○文化活動を支援する教育委員会の支援はとても積極的と感じています。ユネスコ関連事業、文化団体事業などに社会教育委員や事務局が積極的に関わり成果を上げている。今後は財政面での支援が充実することを望む。
53	伊井		○地域の独自性を出したイベントの開催を引き続き望む。
54			○「石狩文化」を教育委員会がしっかりとアピールすることを望む。
55	向田		○アートウォームについては、地域の芸術家の力を活用するなどもうひと工夫し、市民が足を運びたくなるような施設となるよう望む。

施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実

（原案の39～40ページ）

No.	委員	扱い	意見等
56	村中		○ふるさとを学び伝えることは、郷土愛に繋がり、とても大切であることから、継続して取り組んで欲しい。
57			○鮭にまつわる文化も大切だが、厚田、浜益地域にあった鯉の文化など地域の文化が途絶えないように、大切に扱って欲しい。
58	伊井		○学校との連携を図り、子どもたちが「ふるさと」を学ぶ機会が充実することを望む。
59	向田		○石狩市内において、鮭が遡上する姿を見ることができたり、生態を学べるなど、「鮭」を学べる場があることが望ましい。

施策全体

No.	委員	扱い	意見等
60	伊井		○数値のみならず質的な評価も踏まえ、実効性のある評価を望む。
61			○分野を問わず、優れた実践の共有や外部への広報活動が充実して行くことを望む。